

## II 芸術文化事業の状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

### ・文芸館

ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター、文化情報プラザ

### ・市民会館(定員 1,022 名)

## 1 自主文化事業

### (1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
新型コロナウイルスによる影響	自分史センター：5/12（水）～6/20（日）、8/30（月）～9/30（木）利用休止 自分史相談：5/18（火）～6/15（火）、8/31（火）～9/28（火）9日間中止		
ミッション	4 地域コミュニティ形成～つながる		
日時	通年（月曜休み）9:00～19:00、自分史相談は毎週火曜日 13:00～17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子		
入場料等	無料		
利用者数	160 名	利用率	—
収入	—	助成金	—
データ	蔵書 8,358 タイトル／寄贈 60 タイトル／書籍貸出 33 冊／相談日数 40 日／相談件数 63 件		
事業内容	<p>(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。</p> <p>(2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的で開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。</p>		
成果	<p>(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れている。大学の研究目的の利用も多い。文化情報プラザにも本棚を設置し、効果的な自分史のアピールを進めている。</p> <p>(2) 「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。</p>		
備考			

事業名	自分史講座		
新型コロナウイルスによる影響	「エッセイ講座」全8回中3回を下半期へ延期、開催時間を1時間前倒しして開催 「新聞記事で学ぶ文章講座」全3回を下半期へ延期		
ミッション	3 普及啓発～ひろがる		
会場	文化活動室		
受講者数	計 45 名	受講率	—
収入	70,000 円	助成金	—
事業内容	(1) 「エッセイ講座」全8回		
		自主財源比率	42.2%
		支出	165,864 円

	<p>6/24～7/22の毎週木曜日 18:00～20:00 全5回          受講料2,500円 受講者数16名  <b>【振替】</b> 2/24～3/10の毎週木曜日 18:00～20:00 全3回          受講料1,500円 受講者数11名          講師：芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター）</p> <p>(2) 「新聞記事で学ぶ文章講座」全3回          12/4～18の毎週土曜日 10:00～12:00 【8/28、9/11、25の振替】          受講料1,500円 受講者数18名          講師：小松原康平（中日新聞記者）</p>
成 果	<p>(1) 当初予定の講座数ができず、時間の前倒しもあったが、受講者・講師の努力により無事に開催できた。下半期に行った振替講座にも、11名の方が継続して参加。「自身のことを文章で書くのが楽しい」、「コロナ禍で自身を見つめたり他の参加者の自分史に触れることができた」等、前向きな感想を得ることができた。</p> <p>(2) 現役で活躍する新聞記者の技術を直に学ぶことができたことと好評であった。同時期に開催した自主事業の展覧会を模擬取材し、新聞記者の視点を体感いただくことができた。</p>
備 考	

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる		
募集期間	6/15（火）～10/1（金）		
審査員	芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター）、小松原康平（中日新聞記者）		
監 修	芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター）		
入場料等	無料		
利用者数	—	利 用 率	— 自主財源比率 2.5%
収 入	26,600円	助 成 金	— 支 出 1,073,197円
データ	応募数199作品／作品集への掲載35作品／作品集1冊1,000円（税込）		
事業内容	初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。19回目を迎えた。今回のテーマは「かおりのきおく」。「におい」や「香り」にまつわる自分史作品を募集した。		
成 果	前年に引き続き、応募点数は約200作品。北海道から沖縄まで、全国各地から応募があった。年齢は14歳から93歳まで（平均62歳）と幅広い年代からの応募があった。		
備 考			

(2) 美術系事業

事業名	本山ゆかり コインはふたつあるから鳴る		
新型コロナウイルスによる影響	本展 5/12 (水) ~ 5/16 (日) 5日間中止 VR展の追加開催 5/19 (水) ~ 6/20 (日) 33日間開催 関連企画2件(座談会、石尾台中学校ワークショップ)中止		
ミッション	1 創造一つくる		
日時	4/23 (金) ~ 5/16(日)10:00~17:00 ※初日のみ 19:00 まで 21日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	本山ゆかり (現代美術作家)		
入場料等	無料		
入場者数	【本展】1,060名 【VR展】355 アクセス	入場率	— 自主財源比率 9.5%
収入	207,820円	助成金	— 支出 2,186,103円
事業内容	春日井市出身の若手現代美術作家・本山ゆかりの地元初となる個展を開催した。本山がこれまでに取り組んできた主要な作品を全て展示したほか、みんなの美術部2019で好評を博したワークショップ「10秒絵クササイズ」を実施した。 展示作品/36点展示		
成果	地元出身の新進作家を大きく取り上げ、多くの市民、美術関係者に周知することができた。また、作家の意向を最大限理解し、職員が一丸となって展示作業に協力した結果、非常に質の高い展示を実現できた。加えて、様々な広報展開を行ったことで、集客の難しいジャンルかつコロナ禍でありながら1日平均66名の集客を得るなど、集客面でも一定の成果を上げることができた。会期中で中止となったものの、VR展の開催や財団広報誌での特集記事作成、県内外での図録委託販売などできる限りの事後広報にも努めた。		
関連企画	<p>(1) 10秒絵クササイズ</p> <p>①5/8(土)、②5/9(日) 13:30~16:00 交流アトリウム 参加料300円 参加者数①13名②14名 講師 本山ゆかり</p> <p>(2) 先生のための鑑賞会・座談会「美術の楽しさ、おもしろさとは?—みんなで考える図工・美術教育」【中止】</p> <p>5/14(金) 鑑賞会(自由鑑賞) 10:00~19:00、座談会 18:00~19:00 会場:ギャラリー 参加料無料 登壇者:本山ゆかり、土方和美(元岩成台中学校教員・美術部顧問)、 林幸秀(かすがい市民文化財団エデュケーションアドバイザー)</p> <p>(3) 石尾台中学校ワークショップ「10秒絵クササイズ」【中止】</p> <p>5/15(土) 9:00~12:00 会場:岩成台中学校 参加料無料 講師:本山ゆかり</p>		
備考			

事業名	THIS IS YAMANAMI！ 毎日をつくる、やまなみ工房の人々		
新型コロナウイルスによる影響	一般向け講演会の定員を制限（40席、50%以下）		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	11/27（土）～12/19（日）10:00～17:00 20日間		
会場	ギャラリー		
出品作家	やまなみ工房 利用者（38名）		
入場料等	無料		
入場者数	2,396名	入場率	— 自主財源比率 1.2%
収入	29,340円	助成金	— 支出 2,533,896円
事業内容	国内外から注目を集める福祉事業所「やまなみ工房」（滋賀県甲賀市）の利用者による美術作品展を開催した。やまなみ工房を代表する施設初期からの利用者や近年施設の利用を始めた利用者の作品と、やまなみ工房を支えるスタッフとの関係性が見えるように展示を行った。 展示作品／147点展示		
成果	福祉事業所「やまなみ工房」を大きく取り上げ、多くの市民、美術関係者に周知することができた。また、施設利用者（作品作者）だけでなく、施設を支えるスタッフを紹介することができ、福祉施設の仕事に対する理解も進んだ。コロナ禍でありながら1日平均120名、最も多い日では402名と近年実施した美術展覧会では最大の集客となった。また物品販売総額が293,400円と好調であった。		
関連企画	<p>（1）ギャラリートーク</p> <p>① 11/27（土） 11:00～、14:00～、16:00～</p> <p>② 12/18（土） 11:00～、13:30～</p> <p>③ 12/19（日） 11:00～、14:00～、16:00～</p> <p>ギャラリー 参加料無料</p> <p>講師：山下完和（施設長）及びやまなみ工房施設スタッフ</p> <p>参加者数 各回30名</p> <p>（2）先生に向けての講演会「すべては幸せを感じるために～やまなみ物語～」</p> <p>12/15（水）15:30～17:00 会議室 参加料無料</p> <p>登壇者：山下完和（施設長） 参加者数 30名</p> <p>（3）一般に向けての講演会「すべては幸せを感じるために～やまなみ物語～」</p> <p>12/18（土）15:30～17:00 会議室 参加料無料</p> <p>登壇者：山下完和（施設長） 参加者数 58名</p>		
備考			

事業名	しかくいけしき ひかり - ピクセル - アニメーション		
新型コロナウイルスによる影響	3/21（月・祝）ワークショップはリモート開催。		

ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	2/26(土)～3/21(月・祝) 10:00～17:00 21日間		
会場	ギャラリー		
出品作家	重田佑介(映像作家)		
入場料等	無料		
入場者数	2,266名	入場率	— 自主財源比率 0.5%
収入	9,265円	助成金	— 支出 1,757,071円
事業内容	映像作家・重田佑介の初となる個展を開催した。重田の代表作から最新作までを一堂に展示した他、ピクセルで簡単にアニメーションを作るワークショップ「ピクセルアニメーションをつくってみよう」を実施した。 展示作品/メディアアート作品6点展示		
成果	春日井市内では見る機会の少ないメディアアートを活躍する映像作家と共に多くの市民の方々に紹介することができた。重田の作品は体験型で内容もわかりやすく、楽しく鑑賞することができる為、普段美術に馴染みのない市民の方々にもアートを鑑賞する機会を提供することができた。アンケートからも高評価が集まり、満足度の高さがうかがえた。		
関連企画	<p>(1) ピクセルアニメーションを作ってみよう 対象：小学生(3年生以上)、参加料：無料 2/26(土) ①11:00～、②14:30～ ギャラリーホワイエ 講師 重田佑介氏 参加者数 ①13名 ②9名</p> <p>(2) ピクセルアニメーションを作ってみよう(リモート開催) 対象：中学生～大人、参加料：無料 3/21(月・祝) ③11:00～、④14:30～ 会議室 講師 重田佑介氏 参加者数 ③12名 ④11名</p>		
備考			

事業名	みんなの美術部 2021		
新型コロナウイルスによる影響	全7講座中1講座延期(令和4年度に延期)		
ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	1日500円、小中高生は300円		
参加者数	計131名	入場率	— 自主財源比率 58.4%
収入	74,900円	助成金	491,379円 支出 969,888円
事業内容	誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講座を企画。作品制作だけでなく、鑑賞することや話し合う時間も重視して実施した。 前期(1) 芝康弘先生・鈴木佐和子先生の「身近な自然をスケッチしよう」【中止】 会場：グリーンピア春日井 ①6/12(土) ②6/13(日) 9:30～12:30 講師：芝康弘・鈴木佐和子(日本画家) (2) 堀口葵先生の「おもしろい!海の生き物のかたち」 会場：交流アトリウム		

7/3 (土) ①9:30~12:00 ②14:00~16:30 参加者数①9名 ②16名 計25名  
講師：堀口葵 (美術作家)

後期 (3) 矢島与萌先生の「たたら作りで不思議な生きものをつくろう！」

会場：会議室 ①1/22 (土) 13:30~16:00 ②1/29 (土) 13:30~  
参加者数①15名 ②16名 計31名

講師：矢島与萌 (陶芸作家)

(4) 御菓子司美乃雀 山口栄三先生の「四季を感じる和菓子のデザイン」

会場：会議室 2/6 (日) 13:30~16:00 参加者数19名

講師：山口栄三 (和菓子職人)

(5) 荒木紀江先生の「つながる絵画ーオリジナル絵巻をつくろう！」

会場：会議室 2/20 (日) 13:30~16:00 参加者数14名

講師：荒木紀江 (日本画家)

番外編 (1) 夏の遠足「やまなみ工房見学ツアー」

会場：やまなみ工房 (滋賀県甲賀市)

7/10 (土) 10:00~16:45 参加者数19名

講師：やまなみ工房スタッフ

(2) 春の遠足「トヨタ博物館見学ツアー」

会場：トヨタ博物館 (愛知県長久手市)

3/12 (土) 10:00~15:00 参加者数23名

講師：木村徹 (カーデザイナー)

成 果 10代から70代までの幅広い年齢層の参加者を集め、感染予防対策を取りつつ、世代間交流を促進することができた。また、今年度は、障がい者施設スタッフ、和菓子職人、トヨタ自動車OBのカーデザイナーなど、様々なジャンルの専門家による講座を開催することができた。市民が自分自身の成長を感じ、新しい発見が得られる場を十分に提供することができた。

備 考 助成/子どもゆめ基金

(3) 舞台系事業

事業名	オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 吹奏楽コンサート		
新型コロナウイルスによる影響	コンサートを中止 5/22(土)開催予定だった吹奏楽クリニックを延期、時間を分散して3回実施		
ミッション	2 鑑賞一みせるー 3 普及啓発一ひろがる		
日時	【コンサート】5/23(日)16:00～ 【吹奏楽クリニック】1/16(日) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30 ③15:30～16:30		
会場	市民会館		
入場料等	無料		
参加者数	64名	入場率	— 自主財源比率 44.9%
収入	—	助成金	1,451,000円 支出 3,230,196円
事業内容	中止となってしまったコンサートの関連企画として行う吹奏楽部員向けのクリニック。オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ楽団員から、直接指導を受ける機会を提供する。		
成果	市内の高校吹奏楽部より、パートリーダーとサブリーダーが参加して、講師から基本的な楽器の扱い方から演奏技術まで丁寧に教わった。 当初は118名の参加者の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約半分の64名の参加者となった。参加者からは、「大変ためになった」、「悩みが解決できた」という声が多く寄せられ、大好評だった。コロナ禍でレッスンもままならない状態であったため、プロからの的確なアドバイスは、演奏の励みとなり、他の部員や後輩へ伝えていけるものとなった。		
備考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)		

事業名	十代目松本幸四郎襲名記念シネマ歌舞伎「女殺油地獄」		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限(7/22:200席、50%以下/8/26:402席、50%以下) 収入532,800円減 支出52,002円減		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	①7/22(木・祝)15:00～16:45(76名入場) ②8/26(木)15:00～16:45(67名入場)		
会場	①7/22(木・祝)東部市民センター ②8/26(木)市民会館		
出演	松本幸四郎、市川猿之助、市川中車、市川高麗蔵、中村歌昇、中村壺太郎ほか		
入場料等	2,200円(音声ガイド付き2,600円) 学生の特券(小中高生)500円(音声ガイド付き900円)(①2名、②2名)		
入場者数	計143名	入場率	23.8% 自主財源比率 22.2%
収入	369,200円	助成金	— 支出 1,660,998円
事業内容	2年続けて巡業公演の中止となる中、歌舞伎公演を行って欲しいという声は多く、舞台公演の代替企画として同時解説付きのシネマ歌舞伎「女殺油地獄」上映会を開催した。同時		

	解説は元イヤホンガイド解説者のおくだ健太郎氏。イヤホンを借りると生解説をライブで聞くことができる。
成 果	歌舞伎の舞台公演を見に来てくださっていた客層に向けて広報したが、券売は思ったように伸びず、舞台と映画では、同じ歌舞伎であっても客層が異なるということが分かった。関連企画の同時解説は好評であった。舞台公演でのイヤホンガイドは台本を読むものだが、今回は台本が無いため、おくだの語り口調で構成された。まるで友人が隣で教えてくれるような雰囲気が大変親しみやすく、内容の分かりやすさにもつながった。
関連企画	おくだ健太郎による同時解説イヤホンガイド（400円/台） 7/22 貸出 40 台、8/26 貸出 41 台
備 考	

事業名	朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（450席、50%以下）		
ミッション	2 鑑賞—みせる—		
日 時	8/29（日）15：00～16：30		
会 場	市民会館		
出 演	旺なつき、かとうかず子、高橋紀恵、西山水木、根岸季衣、原日出子、市内中高演劇部員7名		
入場料等	4,000円、学生の特券（小中高生）500円（31名）		
入場者数	211名	入 場 率	46.9%
		自主財源比率	53.0%
収 入	661,750円	助 成 金	864,524円
		支 出	2,878,559円
事業内容	広島・長崎の被爆者によって「母と子」をテーマに書かれた手記や詩歌をまとめた朗読劇。原爆の被害を受けた人々の「生の言葉」に触れることで、戦争の記憶や、平和の尊さを伝える機会とする。また、短歌・俳句の朗読者として市内中学・高校の演劇部員に、プロとともに舞台に立つ機会を提供する。		
成 果	実力ある女優たちによる力のこもった朗読が、小中学生から80代以上まで、幅広い世代の来場者を引き込む朗読劇となった。「子どもたちや母の声が身にせまった」「今、生きていることの重みを感じた」などの声が寄せられ、来場者一人ひとりに、作品を通して戦争や命について考えてもらうことができた。また、市内中学・高校の演劇部員が朗読者として舞台に立ったことで、地元の若い世代にも作品のメッセージを伝えることができた。戦争の悲惨さだけでなく、「生き抜こう」と呼びかける本作に、コロナ禍の今だからこそ勇気づけられたという声もあり、意義のある公演となった。		
関連企画	演劇部共演者合同練習 8/6（金）13：30～15：30 市民会館 参加者：市内中高演劇部員7名 講師：有門正太郎（俳優・演出家）		
備 考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）、瀬戸信用金庫地域振興協力基金		

事業名	反田恭平プロデュース ジャパン・ナショナル・オーケストラ コンサートツアー		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限 (731 席、71.5%)		
ミッション	2 鑑賞—みせる—		
日時	3/20 (日) 15:00~17:00		
会場	市民会館		
出演	反田恭平、岡本誠司、ジャパン・ナショナル・オーケストラ		
入場料等	5,000 円、25 歳以下 2,500 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (31 名)		
入場者数	715 名	入場率 97.8%	自主財源比率 78.8%
収入	3,328,347 円	助成金 —	支出 4,223,291 円
事業内容	2021 年のショパン国際ピアノ・コンクールで第 2 位を受賞した反田恭平と、彼が同世代の若手実力派演奏者に呼びかけて結成したジャパン・ナショナル・オーケストラの公演ツアー。今、日本のクラシック音楽界で最も注目を集める若手演奏家を招聘することで、特に若い世代の市民にクラシック音楽に興味をもつきっかけとする。		
成果	新型コロナウイルス感染対策の影響により、公演直前まで客席定員に対して何席まで発売してよいかを見極められず、一般発売は抽選制とした。結果当選倍率は約 13 倍というプレミアムチケットとなり、改めてこの演奏者の人気ぶりを実感した。市民会館は決してクラシック音楽に適したホールではないが、演奏者たち個々の演奏技量の高さにより、小編成のオーケストラながら十分な音圧を客席最後部まで届けることができた。アンコールでは、メンデルスゾーンの弦楽八重奏が演奏されるなど、主役の反田恭平ありきでない、個々のプレイヤーがそれぞれの持ち味を見せる場面があり、来場者からのアンケートにも、若い世代の自発性と活力ある音楽づくりに感銘を受けたという声がいくつか見られた。終演後の熱狂的なスタンディング・オベーションからは、「コロナ禍以来得難くなってしまった「人々が一堂に会し、同じものを見聞きして感動を分かち合うライブの醍醐味」を、改めて共有することができた。		
備考			

事業名	“のだめカンタービレ”の音楽会 ピアノ版		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限 (244 席、50%以下)		
ミッション	1 創造—つくる		
日時	① 8/14(土)18:30~20:45(218 名入場 内サンマルシェ招待 40 名、学生 30 名、招待 2 名) ② 8/15(日)14:00~16:15(208 名入場 内サンマルシェ招待 30 名、学生 35 名、招待 5 名)		
会場	東部市民センター		
出演	高橋多佳子		
入場料等	3,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円		
入場者数	計 426 名	入場率 87.3%	自主財源比率 94.4%

収 入	1,084,016 円	助 成 金	820,000 円	支 出	2,016,807 円
事業内容	平成 18 年に当財団が制作し、全国展開した「のだめ音楽会」。東部市民センター・ホールリニューアルイベントと並行し、春日井市では初めてのピアノ版を開催する。演奏は高橋多佳子。新しく導入されたスタインウェイピアノの魅力を市民の方に存分に体感していただくと共に、クラシックの魅力を幅広い世代に伝えられる機会を提供する。関連企画として、ピアノを習っている小学生～高校生を対象とした、高橋によるピアノ・レッスンをを行う。				
成 果	愛知県にまん延防止等重点措置が発出され、また台風接近の中、多くの来場者が訪れた。高橋の優しく明るい人柄と日本を代表するピアニストの素晴らしい演奏に、多くの来場者から感動の声が寄せられ、「のだめ音楽会」を十二分に楽しんでいただける機会を提供することができた。いずれの回にも多くの学生が訪れ、若い世代にも本格的な演奏会を体感していただく場を設けることができた。また、関連事業のピアノレッスンでは、それぞれ短い時間ではあったが、参加者から「貴重な体験ができた」「これからもピアノを頑張りたい」という感想が寄せられ、若い世代にピアノを演奏することへの希望を与えることができた。				
関連企画	高橋多佳子によるピアノレッスン 8/16 (月) 11:00~18:00 東部市民センター 参加者 10 名 (小学生 9 名、中学生 1 名) 参加費：小学生 1,500 円、中学生 2,000 円、高校生 3,000 円				
備 考	協賛/サンマルシェ 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 企画/茂木大輔、高橋多佳子、公益財団法人かすがい市民文化財団 制作協力/サントミュージゼ(上田市交流文化センター)				

事業名	第 90 回かすがい芸術劇場 瀧川鯉八・玉川太福 二人会				
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限 (108 席、60%以下)				
ミッション	2 鑑賞ーみせるー				
日 時	4/18 (日) 14:00~16:00				
会 場	視聴覚ホール				
出 演	瀧川鯉八 (落語家)、玉川太福 (浪曲師)、玉川みね子 (曲師)				
入場料等	3,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (3 名)				
入場者数	106 名	入 場 率	98.1%	自主財源比率	38.1%
収 入	294,300 円	助 成 金	—	支 出	772,318 円
事業内容	共に意欲的な新作が高く評価され、多くの受賞歴を持つ二人、落語家の瀧川鯉八と浪曲師の玉川太福による二人会。幅広い世代の方が本格的な高座を鑑賞できる機会を提供する。				
成 果	かすがい芸術劇場初の、新作落語と新作浪曲の会。落語公演の客層としては若い 30 代～50 代も多く、幅広い世代が楽しめる公演を提供できた。アンケートでは、「初めて落語や浪曲を生で聴いた」という声が多く聞かれ、落語や浪曲の魅力を知るきっかけを作ること				

ができた。

備 考

事業名	昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会		
新型コロナウイルス感染症による影響	昼コン3公演延期（うち2公演は令和2年度からの延期を令和4年度へ再延期） 夜コン1公演を動画配信に変更 座席数を制限（250席、通常の80%以下） 親子のためのはじめての音楽会1公演延期		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料		
入場者数	計 2,108 名	入場率	— 自主財源比率 77.7%
寄附金	281,182 円（寄附金等）	助成金	393,000 円 支出 868,013 円
事業内容	<p>お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。月2回、土曜日の昼と金曜日の夜に開催。子どもと一緒に生の音楽を聴く経験ができる、はじめてのコンサートも実施。クラシックだけではなく、ポップスなど幅広い曲を演奏し、音楽の楽しさを伝える。</p> <p>(1) 4/10(土) 14:00~15:00 第253回「春一番♪~誰も寝てはならぬ~」 入場者数: 272名 出演: 瀬木理央(ヴァイオリン)、酒泉啓(チェロ)、金澤みなつ(ピアノ)</p> <p>(2) 4/23(金) 19:00~20:00 第254回「心うららかちんとんしゃん」 入場者数: 90名 出演: セニョ〜ル・マンボ(パーカッション)、イネセイミ(フルート・インディアンフルート)、清香(箏・夢箏)、小笠原純子(ピアノ)</p> <p>(3) 5/15(土) 14:00~15:00 第255回「さわやかな風とともに」 【令和4年度へ延期】 出演: ASTER 近藤加奈子(ソプラノ)、二川理嘉(ヴァイオリン)、蒔田裕也(ピアノ)</p> <p>(4) 5/28(金) 19:00~20:00 第256回「血沸き肉躍るリズム×哀愁の旋律」 【動画配信に変更】 出演: 平光真彌(ヴァイオリン)、江川智沙穂(ピアノ)</p> <p>(5) 7/31(土) 14:00~15:00 【6/12(土)からの振替】 第257回「あの思い出に、音楽を添えて」 入場者数: 172名 出演: クレージュトリオ 安保有美(ヴァイオリン)、植村理穂(ピアノ)、堤歩実(サクソ) ※諸事情により(ヴァイオリン)は村上はるかが代役。</p> <p>(6) 6/25(金) 19:00~20:00 第258回「2台ピアノで音楽のカーニバル！」 入場者数: 154名 出演: MeisA 名倉明里(ピアノ)、安田有沙(ピアノ)</p> <p>(7) 12/18(土) 14:00~15:00 第259回「伝統×革新 新世界への挑戦」 【9/11(土)からの振替】 入場者数 142名 出演: 杉山大祐(津軽三味線)、朝木奏多(キーボード)</p>		

- (8) 9/24 (金) 19:00~20:00 第260回「ジャンブル・ナイトでない！」  
【令和4年度へ延期】  
出演：Jumble Quartet 國領さおり (サクソフォン)、山部里恵 (ヴァイオリン)、  
鈴木豊大 (パーカッション)、犬飼裕哉 (ピアノ)
- (9) 10/9 (土) 14:00~15:00 第261回「愛と幻想の島への船旅」  
入場者数 243名 出演：川口紗奈江 (ピアノ)、岩田晃 (ピアノ)
- (10) 10/22 (金) 19:00~20:00 第262回「日本の秋とソプラノアリア」  
入場者数 124名 出演：安藤風季 (ソプラノ)、三輪真子 (ピアノ)
- (11) 11/13 (土) 14:00~15:00 第263回「FUNから始まるリズムに合わせて」  
入場者数 167名 出演：FUN 波多野江莉 (ユーフォニアム)、左合栞 (パー  
カッション)、河原翌真 (ピアノ)
- (12) 11/26 (金) 19:00~20:00 第264回「繋ぎ、奏でる～六弦の世界～」  
※この回のみ市民会館にて開催  
入場者数 236名 出演：井草聖二 (ギター)

#### 親子のためのはじめての音楽会

0歳児から参加可能。前方客席はマットを使用し、親子で気軽に参加できるスタイルの演奏会。時間も30分と短く、お子様向けに手遊びやリズム遊びのコーナーを設けつつ、日頃育児に追われ、なかなかコンサートに出かけることができない親御さんなど大人が聴いても楽しめる「大人向け」のプログラムも取り入れる。

- (1) 1/20 (木) ①10:00~10:30 ②11:30~12:00【9/17 (金)からの振替】  
入場者数 ①108名 ②87名 出演：林里紗 (フルート)、百瀬愛莉 (ピアノ)、弓立翔哉 (パーカッション)
- (2) 3/11 (金) ①10:00~10:30 ②11:30~12:00  
入場者数 ①153名 ②160名 出演：Trio Enchant 中根明日香 (ソプラノ)、西尾結花 (ヴァイオリン)、福田結衣 (ピアノ)

#### 成 果

中止となった公演については、昨年度上半期にも実施した「おうちでbフラット mini コン」と題した動画をシリーズ化して引き続き配信し、自宅でも音楽を楽しむ機会の提供ができた。また、前期より延期公演として開催した公演は、日程を変更したにもかかわらず172名の来場があり、平時と比べても遜色のない集客ができた。寄附金についても、1公演あたり25,000円以上の寄附をいただいております、コロナ禍以前と比較しても大幅に増加している。

下半期は新型コロナウイルスの感染対策による中止、延期の影響がなく、予定された公演はすべて実施することができた。若手音楽家支援事業第3期登録アーティストから2団体を、財団自主事業の初舞台に出演していただき、それぞれのパフォーマンスの力量を確認することもできた。

#### 備 考

助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	かすがい日曜シネマ		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限 市民会館（1）495名、50%以下 視聴覚ホール 最少104名、55%以下～最大115名、60%以下 東部市民センター 最少200名、40%以下～最大255名、55%以下 3回上演を延期		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会場	視聴覚ホール、東部市民センター		
入場料等	前売800円、当日1,000円		
入場者数	計1,516名	入場率 54.6%	自主財源比率 63.8%
収入	1,166,500円	助成金 ー	支出 1,829,711円
事業内容	<p>舞台芸術や音楽等をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。映画上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による、音声ガイド付きの上映も行っている。</p> <p>（1）第81回「ストーリー・オブ・マイライフ わたしの若草物語」 5/4（火・祝）【令和2年度1/31（日）からの振替】市民会館154名</p> <p>（2）第83回「グランド・ジャーニー」 7/4（日）【5/30（日）からの振替】視聴覚ホール①57名、②54名 7/11（日）東部市民センター113名</p> <p>（3）第84回「シークレット・スーパースター」 8/22（日）東部市民センター105名 11/28（日）視聴覚ホール【9/12（日）からの振替】①67名、②66名</p> <p>（4）第85回「家なき子 希望の歌声」 11/14（日）視聴覚ホール①54名、②64名 12/19日（日）東部市民センター【9/26（日）からの振替】128名</p> <p>（5）第86回「ファヒム パリが見た奇跡」 1/10（月・祝）東部市民センター100名 1/23（日）視聴覚ホール①52名、②58名</p> <p>（6）第87回「ブータン 山の教室」 2/27（日）東部市民センター241名 3/6（日）視聴覚ホール①98名、②105名</p> <p>視聴覚ホールは、①10:15～、②13:30～（②は音声ガイド付き上映） 東部市民センターは、13:30～（音声ガイド付き上映）</p>		
成果	作品選定やミニ・トークが好評で、リピーターも多い。当日の来場者だけが申し込める次回作チケットの先行発売も定着し始めており、便利だと好評で、リピーターには特に満足度の高い上映会となっている。また、第87回上映会は全ての回が完売となり、注目度の高い作品を地元で鑑賞できる機会を提供することができた。		
備考	協力／ボイスケイン、ボイスくら 共催／東部市民センター（東部市民センター上映のみ）		

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限		
日時会場	①7/31(土) 15:00~17:30 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール ②8/1(日) 15:00~17:30 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール ③10/2(土) 15:00~17:30 調布グリーンホール 大ホール《室内楽版》 ④10/9(土) 14:00~上田市交流文化芸術センター(サトミュージゼ) 小ホール《ピアノ版》 ⑤10/31(日) 17:45~20:00 高知市文化プラザかるぼーと 大ホール《ピアノ版》 ⑥12/3(金) 18:30~20:30 上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ) 大ホール		
出演	茂木大輔(①②③⑥)、原由莉子(①②)、松田理奈(①)、高橋多佳子(③④⑤⑥)、池田昭子(③)、タレイア・クアルテット(③)、岡本文音(③)、兵庫芸術文化センター管弦楽団(①②)、群馬交響楽団(⑥)		
入場料等	—		
入場者数	オーケストラ版3,784名 ピアノ版 727名 室内楽版 501名	入場率 —	自主財源比率 1,420.5%
収入	500,000円	助成金 —	支出 35,200円
事業内容	平成18年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員で行っている。これまでにオーケストラ版110公演、ピアノ版18公演、室内楽版1公演、延べ162,112名動員(春日井公演含む)。		
成果	各地のホールと連携ができ、お客様にも喜んでいただけた。各ホールの要望をヒアリングしながら、地域にあわせたプログラムを提供できた。 初の四国開催(高知)を行うことができた。上田では5年連続の企画を盛況で終わることができた。各地でお客様にも喜んでいただけた。		
備考	企画/茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団		

事業名	財団サポーター2021		
新型コロナウイルスによる影響	新規登録者募集の中止。4月から11月まで全ての活動を休止。		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながらる		
参加者数	計37名	入場率 —	自主財源比率 —
収入	—	助成金 —	支出 11,600円
事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。		
実績	活動公演数4回/展覧会数0回/研修1回/登録者数35名		
成果	新型コロナウイルスの影響により、2年近く活動を休止していたが、12月にお互いの近況を話し合う「おはなし会」を実施し、年明けの1月から、感染対策を行った上で活動を再開		

した。久しぶりの活動となったが「サポーターの活動が、生活の張り合いとなっている」という声が多く聞かれた。コロナ禍も、積極的に活動に参加して下さる方がほとんどで、財団の良き理解者、支援者としての繋がりがしっかり出来ていると実感した。

備考 今年度の新規登録者はなし。

(4) アウトリーチ事業

事業名	かすがい どこでもアート・ドア		
新型コロナウイルス感染症による影響	全 26 回中 3 回を中止、5 回延期。		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる	6 人材育成—はぐくむ	
入場料	無料		
参加者数	計 2,578 名	入場率 —	自主財源比率 43.8%
収入	—	助成金 441,000 円	支出 1,006,351 円
事業内容	<p>各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣し、演奏やワークショップを通して「特別なアートの時間」を届ける事業。文化・芸術を身近に体験する機会を提供する。</p> <p>(1) 音楽／出演：馬場淳史（津軽三味線）</p> <p>① 7/21（水）坂下南保育園 120 名</p> <p>② 10/7（木）小野保育園 65 名</p> <p>③ 11/8（月）中央台小学校【9/15（水）からの振替】180 名</p> <p>④ 12/15（水）あすなろ教室 45 名</p> <p>(2) 音楽／出演：Trio Primavera</p> <p>林里紗（フルート）、小笠原歌歩（オーボエ）、蒔田裕也（ピアノ）</p> <p>① 10/13（水）瑞穂保育園 105 名</p> <p>② 11/2（火）第一保育園 191 名</p> <p>③ 1/19（水）白山保育園【9/14（火）からの振替】77 名</p> <p>(3) 音楽／出演：Shki's Friends</p> <p>詩貴（マリンバ）、鈴木豊大（パーカッション）、太田紗耶香（ピアノ）</p> <p>① 10/12（火）柏原西保育園 100 名</p> <p>② 12/14（火）押沢台小学校 62 名</p> <p>③ 1/21（金）高森台保育園 57 名</p> <p>(4) 音楽／出演：MeisA</p> <p>名倉明里（ピアノ）、安田有沙（ピアノ）</p> <p>① 10/19（火）岩成台保育園 145 名</p> <p>② 12/16（木）第二保育園 87 名</p> <p>(5) 音楽／出演：BULL</p> <p>瀧彬友、三輪一登、大嶋漢、小田和来、川地立真（サクソフォン）、山田信晴（打楽器）</p> <p>① 10/26（火）貴船保育園 110 名</p> <p>② 11/12（金）高森台小学校 270 名</p> <p>③ 11/16（火）東高森台小学校 170 名</p> <p>④ 1/12（水）八幡小学校 170 名</p> <p>(6) 音楽／出演：ASTER</p>		

	<p>近藤加奈子（ソプラノ）、二川理嘉（ヴァイオリン）、蒔田裕也（ピアノ）</p> <p>① 1/16（日）六軒屋コミュニティ推進協議会【中止】</p> <p>② 2/25（金）愛知県立春日台特別支援学校 99名</p> <p>（7）音楽／出演：井草聖二</p> <p>① 11/26（金）あすなろ教室 50名</p> <p>② 11/26（金）南城中学校 300名</p> <p>（8）音楽／出演：瀬木理央（ヴァイオリン）、金澤みなつ（ピアノ）</p> <p>① 2/16（水）牛山小学校 55名</p> <p>（9）落語／出演：「楽語の会」若鯨亭笑天</p> <p>① 8/4（水）春日井地区社会福祉協議会「ひまわりサロン」【6/2（水）からの振替】 40名</p> <p>② 1/12（水）六軒屋社会福祉協議会「高齢者サロンはなみずき」【9/8（水）からの振替】 40名</p> <p>③ 2/18（金）町屋友の会【9/22（水）からの振替】 40名</p> <p>※代演：微笑亭さん太</p> <p>（10）日舞／出演：藤間勘揚、藤間勘之介</p> <p>① 1/29（土）月見町内会【中止】</p> <p>② 3/21（月・祝）春日井市老人クラブニュータウン地区藤山台東・西みどり会【中止】</p>
成 果	<p>今年度も開催希望が相次ぎ、抽選となる人気となった。しかしながら緊急事態宣言の発令や、まん延防止重点措置の実施により、延期や中止が相次いだ。アート・ドアが実施できたところは、感染防止対策を行いながらの開催であったが、子どもたちや地域の方々に喜んでいただけた。また新たに、学校にアーティストが赴き、授業を行うという、新しい取り組みを行った。単なる芸術鑑賞会ではなく、教育の狙いを踏まえた演奏家ならではの視点での授業は、子どもたちの理解度が格段に上がり、今後の可能性を広げるものとなり、来年度以降、更なるアート・ドアの拡充が見込める内容となった。</p>
備 考	<p>助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）</p>

(5) 施設サービス系事業

事業名	スタインウェイピアノ開放します！		
新型コロナウイルスによる影響	換気・消毒のために前後の組の空き時間を通常 15 分のところ 30 分に延長		
ミッション	3 普及啓発－ひろがる		
日 時	8/27（金）、28（土）8：45～17：15 1/5（水）、6（木）8：45～17：15 （全共通：1 枠 1 団体 60 分、終了時間 17：15）		
会 場	市民会館		
参加者	公募による抽選で選ばれた市民		
入場料等	利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円		
参加者数	計 28 組 126 名	入 場 率	— 自主財源率 69.7%
収 入	34,500 円	助 成 金	— 支 出 49,500 円
事業内容	市民会館のホールを貸し切り、スタインウェイピアノを 1 時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は 2 回開催。		
成 果	1 回目の夏では 50 組の応募、2 回目の冬には 24 組の応募があり、計 28 組の家族やグループが、家族 4 世代でのプライベートコンサートや動画投稿サイト用の録音など、思い思いの 1 時間を過ごした。		
備 考			

事業名	かすがい文化フェスティバル 2021		
新型コロナウイルスによる影響	8/14（土）夕涼みシネマ中止 すべての講座で人数を制限		
ミッション	3 普及啓発－ひろがる 4 地域コミュニティ形成－つながる		
会 場	文芸館、市民会館		
参加者数	計 353 名	入 場 率	— 自主財源比率 45.9%
収 入	74,900 円	助 成 金	235,161 円 支 出 676,007 円
事業内容	7 月最後の日曜日と 8 月に週一回、子ども向けのワークショップを実施。初日はスペシャルデーと称して、工作や、和楽器等の伝統文化を小学生に教えた。8 月の平日は市内外で活動するアーティストを講師に、ワークショップや親子で参加できる劇場バックステージツアーを開催。		
	スペシャルデー 交流アトリウム、市民会館、視聴覚ホール、文化活動室、会議室 （1）オープニングコンサート 7/25（日）9：30～10：00 入場料無料 入場者数 86 名 出演：Trio Primavera 林里紗（フルート）、小笠原歌歩（オーボエ）、蒔田裕也（ピアノ） （2）体験講座 全 11 講座 22 回 7/25（日）①10：10～ ②11：20～ ③13：30～ ④14：40～		

参加料 無料～500円 参加者数 172名

講師：春日井市文化協会（9団体）、室田伊緒（将棋棋士、春日井広報大使）、大澤健朗（囲碁棋士）

ワークショップ 交流アトリウム、市民会館（（1）のみ）

（1）「親子で挑戦！謎解きゲーム in 市民会館 vol.4」

8/1（日）①10:00～ ②13:00～ ③15:00～

参加料 200円 参加者数 16チーム 48名

講師：かすがい市民文化財団職員

（2）「ステンシルで自分だけのバッグ作り♪」

8/12（木）14:00～16:00 参加料 300円 参加者数 11名

講師：鈴木幸恵（ファブリックステンシル講師）

（3）「くっつけまつり」

8/19（木）①11:00～12:30 ②14:00～15:30 参加料 300円 参加者数 21名

講師：小林大地（愛知県立芸術大学金工指導員）

（4）「海のキャンドルを作ろう！」

8/26（木）14:00～16:00 参加料 500円 参加者数 15名

講師：竹村真紀（キャンドル教室講師）

夕涼みシネマ「ヒックとドラゴン2」屋外広場【中止】

8/14（土）19:00～20:45 入場料無料

成 果 子どもたちが普段は触れることの少ない芸術文化体験の場をつくることができた。今年度は盤上遊戯の代表である囲碁と将棋の講座をスペシャルデーで開催し幅広い芸術文化体験を提供することができた。

備 考 助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業

事業名	ギャラリーライブ Vol.3 柳下美恵のピアノ de シネマ				
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（90席、60%以下）				
ミッション	1 創造一つくる				
日時	7/17（土）14:00～16:00				
会場	ギャラリー				
出演	柳下美恵（サイレント映画ピアニスト）				
入場料等	1,000円、学生の特権（小中高生）500円（5名）				
入場者数	85名	入場率	94.4%	自主財源比率	20.2%
収入	53,500円	助成金	—	支出	264,453円
事業内容	展示以外の施設利用方法を提案するシリーズとして、ギャラリーの全面白壁を生かした映画会。3大喜劇王の一人、バスター・キートンの無声映画「文化生活一週間」「探偵学入門」				

	に、サイレント映画ピアニストによる即興のピアノ伴奏で表情を添える。
成 果	会場内には市内の廃校から借用した赤い舞台幕を吊り、舞台照明で空間を灯すなどして、通常の映画館にはない空間演出を行った。アンケートでも「無声映画にピアノが入ると映像に引き込まれる」「キートンの映画を初めて観たが面白かった」という声があり、普段観ることの少ない無声映画の面白さを伝えることができた。
備 考	

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
受講料等	無料		
受講者数	26名	入 場 率	—
			自主財源比率 —
収 入	—	助 成 金	—
			支 出 6,610円
事業内容	<p>市内高校の吹奏楽部と演劇部を対象に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナー。演劇版では希望校の実際の活動場所にて、普段使っている道具や環境の中で、より実践的な指導をした。吹奏楽版ではそれぞれの定期公演で応用できる演出方法とその作り方について、具体例を交えながら指導した。</p> <p>(1) 高校演劇版 11/13 (土) 9:00~12:00 春日井高校体育館 受講者数6名 (春日井高校)</p> <p>(2) 高校吹奏楽版 1/8 (土) 9:30~11:30 市民会館 受講者数20名 (春日井西高校、高蔵寺高校)</p>		
成 果	<p>高校演劇版では、基本の道具となる箱を作成する内容で行い、参加者がすぐ使える知識や技術を伝えることができた。</p> <p>吹奏楽版では演出例をだしながら具体的な指導を行い、実際に照明・音響機材を操作してみる体験も行い、吹奏楽版、演劇版とも、受講者は財団スタッフに積極的に質問しながら熱心に学んでいた。</p>		
備 考			

事業名	【共催】第28回春日井高等学校吹奏楽フェスティバル		
新型コロナウイルスによる影響	例年行っていた合同演奏を取りやめ、各校ごとの単独演奏 来場者を吹奏楽部関係者のみに限定		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
日 時	12/19 (日) 13:30~16:30		
会 場	市民会館		
出 演	春日井西高校、春日井高校、春日井東高校、中部大学春日丘高校、春日井南高校、高蔵寺高校、春日井商業高校 各吹奏楽部		
入場料等	無料		
入場者数	280名	入 場 率	—
			自主財源比率 —
収 入	—	助 成 金	—
			支 出 —

事業内容	市内7高校の吹奏楽部が一堂に会す恒例の演奏会。例年行っていた合同演奏をとりやめ、各校の単独演奏で実施した。幕間には学校や定期演奏会の紹介動画を上映した。
成果	各校の演奏の前に生徒たちが用意した学校の紹介、春に行われる定期演奏会の紹介映像を上映。また、演奏に関して各校が感想を送り合い、他校吹奏楽部との交流を楽しんだ。
備考	主催／春日井高等学校吹奏楽協議会（幹事校：高蔵寺高校）

事業名	アトリウム音楽祭		
新型コロナウイルスによる影響	秋) 公演中止 春) 出場枠を削減(75%)、開催日数を2日間から3日間に変更		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計866名	入場率	58.5%
		自主財源比率	86.4%
収入	90,000円	助成金	—
		支出	104,118円
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会。市内外で活躍しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。</p> <p>(1) [秋] 9/18(土)・19(日)【中止】</p> <p>出演予定団体12組</p> <p>琴修会 春日井支部 玉川教室、公益社団法人 関西吟詩文化協会公認 鷺伸吟詠会 東尾張支部、オカリナ・スプリングウェル、春日井男声合唱団、M à la carte、Puanani Aloha、琴古流尺八長月会、津軽三味線 響、Oriental×Face、現代邦楽会・春日井、ウクレレユニット・レインボーガーデン、ムジカアーツ</p> <p>(2) [春] 2/26(土) 10:00~18:15、3/12(土) 13:00~18:15、13(日) 10:00~18:15</p> <p>出演者16団体(339名)、入場者数866名</p> <p>キッズダンスサークル、colorful tutti、楓アンサンブル、フラオリタヒチ マカリイ、カパフラ オ プアラニ プアメリア ティアレ カハイア、津軽三味線 響、ハーモニーあおい、春日井男声合唱団、ΔOcarina、マカナニフラスタジオ、Kahawainani Hula Halau、hoalimi Hula、椰子の実ウクレレ倶楽部、ハラウ・ワア・カウルア・ハアリ・マオヒ、ウクレレユニット・レインボーガーデン、Hula Halau Ka Makani O Hawaii</p> <p>※出演を予定していた琴修会 春日井支部 玉川教室、あんじゅママコーラス&amp;シャルールは、出演を見送ることになった。主な理由は、緊急事態宣言によって市内施設を用いた練習ができなくなったことや、感染リスクを回避するためであった。</p>		
成果	合唱、津軽三味線合奏、など、様々な音楽団体が舞台に立った。新型コロナウイルスの影響で大きなイベント等が開催されない状況が続いているため、常連の団体に加え、新規団体や数年ぶりに応募してくる団体も多くみられた。同時に、コロナ禍の状況下でイベントを開催する意義を感じる機会となった。打合せでは各業種ガイドラインを元に、団体毎に必要な対策を事前に共有することができ、他事業で培った新型コロナウイルス感染症対策の経験を活かしてイベントを作り上げることが出来た。		
備考			

事業名	【共催】かすがい人形劇フェスティバル 2021		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（85席、50%以下）		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
日時	12/12（日）①10：00～11：50（79名入場） ②14：00～15：45（78名入場） ③12：00～13：50（作って遊ぼうコーナー、計60名参加）		
会場	視聴覚ホール、交流アトリウム（作って遊ぼうコーナー）		
出演	①人形劇団よろずや〇、人形劇団とんとんとん、マーガレット一家・たっちゃんの紙芝居、人形劇団パン ②人形劇団じゃん・けん・ぽん、人形劇団シッチャカメッチャカ、マーガレット一家・たっちゃんの紙芝居、人形劇団むすび座 ③さくらぶんこ、くれよんの会 ④⑤人形劇団パン		
入場料等	①②前売 おとな1,000円、こども500円 当日 おとな1,200円、こども600円 ③④⑤無料（※③は①または②のチケット購入者のみ先着10組）		
入場者数	計217名	入場率 92.4%	自主財源比率 ー
収入	ー	助成金 ー	支出 ー
事業内容	新型コロナウイルスの影響でおよそ2年ぶりの開催となる本イベントは、市内外のアマチュア及びプロ人形劇団が合同で公演を行った。また、午前午後の合間には交流アトリウムで折り紙や工作の体験会を行った。関連イベントとして、出演団体の所有している人形や移動人形劇場・パペットカーを交流アトリウムで展示した。公演前日には同パペットカーで小公演を開催するなど、本イベントを盛り上げる企画を実施した。		
成果	公演の1ヶ月前にはチケットが完売した。コロナ禍により客席数が少なかった要因もあるが、近隣地区内で催される子ども向け事業の数が減少し、ニーズが高まっていたことも要因の一つであることが来場者の声から伺えた。 チケットを買い逃した方からの問い合わせが多かったため、急遽人形劇団パンによるパペットカー公演を企画した。1回30分の公演であったが、そのためだけに会場に足を運ぶ方も多くいた。結果としては、イベント本体の客数よりも多くの方にご覧いただくことになり、チケットが買えなかった方にも人形劇の魅力を味わう機会を提供することができた。 交流アトリウムに停まっている車がアイキャッチとなり、例年と比較して立ち止まってチラシやポスターを見ていく人が多い印象があった。視聴覚ホールと交流アトリウムが一体となり、子どもたちの笑顔溢れる2日間となった。		
関連企画	(1) パペットカー・各団体の人形の展示 12/1（水）～12（日） 交流アトリウム (2) 移動人形劇場・パペットカー公演『スイミー』 12/11（土） 交流アトリウム ④13：00～13：30（133名入場）⑤15：30～16：00（108名入場）		
備考	主催／愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】 にとっておきのクリスマスコンサート		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（220席、70%以下）		
ミッション	5 活動支援一ささえる		
日時	12/25（土）16：00～17：30		
会場	交流アトリウム		
出演	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		
入場者数	201名	入場率	91.4%
		自主財源率	—
収入	—	助成金	—
		支出	14,960円
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団OB・OGも参加し、クリスマスソングを歌う。		
成果	ステージ前に張り出し舞台を仮設し、出演者同士が身体的距離を確保しながら合唱できる仕様を設え、交流アトリウムでは2年ぶりとなるイベントを開催した。自主事業や貸館事業で培った新型コロナウイルス感染症対策のノウハウを活かすことで、出演者・観客が安心して楽しめる公演づくりができた。座席定員数には制限があったため広報活動は控えめに行っていたが、用意していた席数が9割埋まり、盛況のうちに幕を下ろした。		
備考	主催／春日井児童合唱団		

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝事業		
収入	—	支出	785,430円
		自主財源比率	—
事業内容	より多くの市民に当財団の活動を“認知・理解・支援”していただくために、マスコミを始めとした外部機関と連携し、当財団及び事業のPRを行った。またPRのためのツール制作にも従事し、質の向上を保つためのハンドリングを行ったり、わかりやすさ・親しみやすさを感じるビジュアルの制作を行った。		
実績	《記事掲載》中日新聞20回、朝日新聞1回、毎日新聞1回、ラジオ1回、ケーブルテレビ3回、雑誌タウン誌15回		
成果	緊急事態宣言下で事業が中止になる中、感染症対策をしながら開催可能な展覧会などのPRを行い、記事掲載につなげることができた。重田佑介展「しかくいけしき」ではアーティストと連携して告知映像を作成し、市内主要道路の大型LED掲示板に映し出したり、SNSでのPRを行うことができた。また、東部市民センターと事業PRを連携することで、広報制作物の一体感を図り、効率的な広報宣伝を行うことができた。		
備考			

事業名	情報発信事業		
収入	12,000円	支出	6,103,831円
		自主財源比率	0.2%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面、HP、SNSや映像等の自社媒体で広く発信した。		
実績	<p>(1) 広報誌「FORUM PRESS」発行 4月・7月・10月・1月(計4回)、各7,000部          《配布状況》県内331施設、県外50施設に配布          《FORUM PRESS レポーター》登録人数10名、活動公演数10回、研修等1回、参加人数延べ19名、誌面掲載記事4本、HP掲載記事15本</p> <p>(2) HP運営 システムアップデート、随時更新</p> <p>(3) SNS運営 twitterフォロワー数1,252名、LINEお友だち人数655名</p> <p>(4) 動画公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演劇×自分史 2020 第3弾公演「春よ恋」(未上演)再生回数:153回</li> <li>・演劇×自分史 2020 第3弾公演「春よ恋」ドキュメント再生回数:142回</li> </ul>		
成果	<p>(1) 年度初めに効率的かつ戦略的な媒体づくりに向けたミーティングを重ね、昨年度1月に101号となった「FORUM PRESS」からリニューアルした。掲載する話題を自主事業のほか受託事業や貸館利用者にも広げ、冊子サイズをコンパクトなB5にしたことで、関係者や配布先には好評を得ることができた。また、この広報誌を介し多様な文化芸術の営みが生まれた。特にコロナ禍で中止となった事業を誌面で届け続けられたことには意義があったと思われる。また受託事業の短詩型文学祭と、表紙写真の撮影や取材を連動させることで、事業の新たなイメージを作ることができた。</p> <p>(2) 将来においてサイト改ざん被害や情報漏洩のリスクを回避低減できるようになった。</p> <p>(3) 昨年度より当財団のLINE公式アカウントを開設し、お友だち数は1.5倍増となった。</p>		

た。新たな情報発信ツールとして位置づけることができた。

(4) 昨年度「公文協シアターアーカイブス」で短期間だけの公開であった動画配信について、そのフォローとして令和3年5月に再び1カ月間の公開をした。当日、地域創造レターでも「演劇×自分史」の取り組みが特集されたタイミングだったこともあり、文化施設として一定の評価を得られた。

備 考

事業名	インフォメーション事業				
収 入	20,670 円	支 出	836,086 円	自主財源比率	2.5%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。チケットの Web 販売は平成 28 年 2 月に導入した票券管理システムで、コンビニエンスストアでの発券およびクレジットカード決済が可能になった。また、文化情報プラザ窓口でのクレジットカード端末導入によるキャッシュレス決済も運用している。交流アトリウムでは大型モニターを活用して、自主事業の情報を映像で随時発信している。				
実 績	≪文化情報プラザ運営≫9:30～17:15 ≪チケット Web 販売数≫636 件 1,089 枚 3,993 千円 (未払分含む) ≪チケット入金明細≫・カード決済 203 件 346 枚 ・セブンイレブン決済 152 件 269 枚 ・現金 1,869 件 3,169 枚 ・郵便振替 5 件 9 枚 ≪文化情報プラザでのカード利用数≫156 件 287 枚 999 千円				
成 果	チケットの販売や入金などは、コロナ禍において一昨年度の約 4.5 割程度で、昨年度から若干増加傾向である。その中でも、現金利用が昨年とほぼ横ばいであるが、カード利用が 3.8 倍とキャッシュレス決済の利用を伸ばすことができた。				
備 考					

事業名	友の会事業				
収 入	700,198 円	支 出	514,393 円	自主財源比率	136.1%
事業内容	自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度で、平成 14 年度から継続して運営している。平成 28 年 2 月より Web のみチケット先行予約が可能な無料の Web 会員制度を導入。				
実 績	≪友の会 PiPi 有料会員≫年会費 1,500 円、527 名 (新規入会 53 名、更新 474 名) ≪無料 Web 会員≫6,445 名 ≪提携ショップ≫49 店舗				
成 果	多くの友の会会員が毎年楽しみにしている「松竹大歌舞伎」が今年度も中止となったこともあり、会員数は減少している。そんな中、当財団の根強いファンである会員が市内東部地域には比較的多く、会員更新していただけている。また、友の会継続に関する会員アンケートを行なったところ、多くの会員が継続希望との回答があった。一方、無料 web 会員が昨年度より 1 割以上 (約 680 名) 増加した。これらを踏まえ、今後の検討材料としていく。				
備 考					

## 2 受託文化事業

事業名	第70回記念春日井市民美術展覧会		
新型コロナウイルスによる影響	公開審査は入場定員を設け開催、ギャラリートーク全日程中止（全16回）		
日時	8/21（土）～29（日）9:00～16:30（初日10:00開場、最終日12:00閉場）9日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー		
入場料等	出品・入場無料		
入場者数	7,224名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	4,744,416円	助成金	—
		支出	4,744,416円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を8/21（土）に開催した。</p> <p>応募 647 作品</p> <p>日本画 34 作品、洋画 109 作品、書 230 作品、彫塑工芸 25 作品、写真 139 作品 委嘱作品 54 作品、参考作品 56 作品</p> <p>賞／市長賞、第70回記念賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞</p>		
成果	<p>展覧会会期の全期間において、新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置が市内に適用されたため、公開審査の見学は入場定員を設け開催し、審査会員によるギャラリートークは全日程中止した。</p> <p>今年度からの試みとして、カラー版入賞者名簿をインターネット上で公開。532件のアクセスがあった。また、展覧会新規出品者は81名と増加傾向で、その内50歳代までが70%と出品者の若返りが見られ、2年間取り組んでいるビジュアルイメージの刷新及びweb事前申込みの効果が徐々に表れている。昨年度に引き続き、感染防止策を徹底し、コロナ禍においても継続して、市民に作品発表及び鑑賞の場を提供することができた。</p>		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会 後援／中日新聞社		

事業名	第41回春日井市短詩型文学祭		
新型コロナウイルスによる影響	表彰式の規模縮小（壇上で授与する賞を減らし時短開催）		
日時	1/22（土）～2/6（日）9:00～17:00 14日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	4,920名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	1,352,182円	助成金	—
		支出	1,352,182円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品45作品と審査員及び実行員による作品17作品も同時に展示し、表彰式を1/30（日）に開催した。</p> <p>応募／25,934作品（一般の部826作品、小・中学生の部25,108作品）</p>		

	<p>入賞／569 作品 作品集無料</p> <p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩</p> <p>【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞／市長賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀（小・中学生のみ）、佳作</p>
成 果	<p>市民の文芸作品の発表と鑑賞の場を提供している本事業。応募作品数は昨年度より 1,712 作品増加し、過去最高を記録した。これまで 750 円で販売していた作品集を、今年度から無料配布し、これまでの4倍以上の約 2,000 冊配布できた。これにより、事業の知名度向上及び新たな応募者の獲得が期待される。また、一般の部応募者の高齢化が顕著であることから、春日井出身の若手歌人・鈴掛真氏を起用した募集ポスターを作成し、インターネットからの応募につなげる仕組みをつくったことにより、5部門合計で10～20代の応募者が28名増加した。</p>
備 考	<p>主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会</p>

3 共催事業

事業名	小野道風公奉賛 第73回 全国書道展覧会「道風展」		
新型コロナウイルスによる影響	表彰式の規模縮小（壇上で授与する賞を減らし時短開催）		
日時	<b>【本展】</b> 10/31（日）～11/7（日） 9:00～16:30 8日間開催 <b>【VR展】</b> 10/31（日）～12/5（日） 36日間開催 <b>【学生半紙の部巡回展】</b> 11/8（月）～12/5（日）28日間		
会場	<b>【本展】</b> 市庁舎、ギャラリー、交流アトリウム、道風記念館 <b>【VR展】</b> 観光コンベンション協会会長賞以上の作品をインターネット上で公開 <b>【学生半紙の部巡回展】</b> JR春日井駅自由通路展示コーナー		
入場料等	出品料 第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	5,422名	入場率	— 自主財源比率 103%
収入	7,077,351円	助成金	— 支出 6,874,123円
事業内容	<p>日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃えて開催する全国公募の書道展覧会。開会式を10/31（日）、表彰式を11/3（水・祝）に開催した。</p> <p>応募／5,904点</p> <p>第1部（漢字）155点、第2部（かな）47点、第3部（近代詩文）66点            第4部（少字数）51点、第5部（小品）0点 一般部合計 319点            学生条幅の部 628点、学生半紙の部 4,957点 学生部合計 5,585点</p>		
成果	<p>コロナ禍の影響により、各地の書道教室や部活動が十分な活動ができない状況の中、昨年度中止していた他の公募展が復活したこと等もあって、昨年度と比較し、応募点数が一般部 17点、学生部 150点、合計 167点減少した。</p> <p>しかし、学生条幅の部では昨年度から引き続き、県外の書道強豪校からの出品があり、非常にレベルの高い公募展となった。</p> <p>また、一部賞品を従来の盾から実用的な筆に変更することで、賞品代や郵送費の削減につながり、収支面で健全な運営ができています。</p>		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援／愛知県教育委員会 協賛／一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	2021 春日井市民第九演奏会		
新型コロナウイルスによる影響	客席数を制限（300席、30%以下） 合唱団を客席へ配置し、舞台上の指揮者を客席後方に設置したスクリーンに投影した。		
日時	12/5（日）15:00～17:00		
会場	市民会館		
出演	指揮：井村誠貴 独唱：伊藤晴（ソプラノ）、相可佐代子（アルト）、大久保亮（テノール）、伊藤貴之（バリトン） 管弦楽：春日井市交響楽団 合唱：春日井市民第九合唱団 合唱指導：松下伸也・西畑佳澄		
入場料等	1,500円		

入場者数	278名	入場率	92.7%	自主財源比率	—
収入	—	助成金	—	支出	—
事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として合唱団を客席に配置、ソリスト、交響楽団とともに約160名の出演者が舞台に立った。				
成果	2年ぶりの開催となった本公演では、感染症拡大防止のため指揮者をはじめ合唱団、交響楽団共に人数を減らしての開催となった。舞台を交響楽団とソリスト、合唱団を客席に配置し、舞台上の指揮者を客席後方のスクリーンに投影して行った。 前曲のクリスマス・フェスティバルでは指揮者がサンタクロースに扮する等、華やかに盛り上げ、交響曲第9番ではマスク着用を感じさせない力強い合唱で、年の瀬の市民会館を大いに盛り上げた。				
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市民第九演奏会実行委員会 共催／春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団				

4 協力事業

事業名	東部市民センターホール リニューアル記念イベント コンサートグループ「花の詩」ミニコンサート～想いを音楽にのせて～		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（350席、70%以下）		
ミッション	1 創造一つくる		
日時	8/14（土）10：00～11：30		
会場	東部市民センター		
出演	コンサートグループ「花の詩」、飯田みち代（春日井広報大使、ソプラノ）、林里紗（かすがい文化スポーツ大使、フルート）、丸尾祐嗣（ピアノ）、百瀬愛莉（ピアノ伴奏）		
入場料等	無料・要申込		
入場者数	250名	入場率 71.4%	自主財源比率 143.4%
収入	587,000円	助成金 —	支出 409,500円
事業内容	音響改修を進めていた東部市民センター・ホールが令和3年7月にリニューアルオープンし、それを記念して開催されたコンサート。財団制作による改修PR動画の上映に加え、生演奏でリニューアルされた反響板の響きや、新しく導入したスタインウェイピアノの音色を体感していただく。		
成果	動画作成やチラシデザイン、舞台進行など、財団が持つ専門技術を投入したことで、記念コンサートを成功させることができた。音響改修によってコンサートホール並みに向上した環境で、世界の名器スタインウェイピアノの音色によって聴衆を魅了することができた。		
備考	主催／東部市民センター		

事業名	“わ～く書っふ”スペシャルDAY		
新型コロナウイルスによる影響	すべての講座で密を避けるため人数を制限		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる	4 地域コミュニティ形成一つながる	
日時	7/11（日）9：30～16：00		
会場	文芸館		
入場者数	473名	入場率 —	自主財源比率 —
収入	—	助成金 —	支出 —
事業内容	<p>市主催の書のワークショップ。市内で活躍している書家を講師とし、子どもたちが書に親しむ機会とする。また、日本画、川柳のワークショップも開催し、日本の伝統文化の魅力を感じられる機会を設ける。加えて、開館から20年を迎え、約半年間の改修工事を行っていた文化フォーラム春日井のリニューアルオープン記念式典をスカイフォーラムで開催した。</p> <p>(1) スカイフォーラムリニューアルオープン記念式典 9：30～9：45 入場者数40名</p>		

	<p>(2) 体験講座 全8講座 11回</p> <p>10:00~16:00 参加料無料~500円 参加者数 433名</p> <p>講師:小川大樸、梶田文宗、加藤洋一朗、川本大幽、武内峰敏、原田凍谷</p> <p>(以上、春日井市民美術展覧会審査会員(五十音順))</p> <p>戸田富士夫(春日井市短詩型文学祭実行委員)</p>
成 果	<p>財団主催の「かすがい文化フェスティバル」とはまた違った「書」を中心としたワークショップで、感染防止対策としてイベントが減っている小学生の夏休みの良い思い出をつくることができました。また、財団の持つ専門技術を提供することで催物の質を上げることができました。交流アトリウムのステージ上に、子どもたちの書の展示を行うことでワークショップを盛り上げることができました。</p>
備 考	<p>主催/春日井市、協力/春日井市美術協会</p>

5 職員派遣

派遣事業名	令和3年度愛知県公立文化施設協議会総会セミナー
日 時	4/22 (木) 15:00~16:30
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県公立文化施設協議会
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)
派遣事業名	愛公文セミナー I・II・III
日 時	5/20 (木)、7/8 (木)、10/14 (木) 10:00~17:00
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県公立文化施設協議会
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)、小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	アートカレッジ アートマネジメント講座
日 時	8/20 (金) 19:00~21:00
会 場	津市久居アルスプラザ
主 催	津市久居アルスプラザ (株式会社計ミックスパブリックビジネス)
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ マネジャー)
派遣事業名	フロントスタッフ養成講座
日 時	9/19 (日) 13:30~15:00
会 場	武豊町民会館 (ゆめたろうプラザ)
主 催	武豊町民会館
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	コロナの視座③ 座談会 地元の実演家とつながる
日 時	11/5 (金) 15:00~18:00
会 場	一般財団法人地域創造
主 催	一般財団法人地域創造
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	舞台芸術人材養成ラボ 技能習熟プログラム「劇場職員セミナー」
日 時	1/21 (金) 10:00~11:45
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県文化振興事業団
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ マネジャー)

【事業の全てを中止または延期したもの】

キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」	- 延期 -
9/20 (月・祝) 14:00~ ⇒ R4. 9/10 (土)	
春日井まつり前夜祭	- 中止 -
10/15 (金) 18:45~	
【共催】ミュージカル「忍たま乱太郎」	- 中止 -
11/27 (土)、11/28 (日)	
アン・サリー&ソフィア・カールソン	- 延期 -
12/4 (土) ⇒ R4. 12/3 (土)	
演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト	- 延期 -
時期未定 ⇒ 令和4年度開催に向けて調整中	

1 施設の利用状況(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(1) 文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
1 ギャラリー	48	42	87.5%	288	241	83.7%	35	貸館	24	一般	17	9,501	26,321	22	15,207
										減免	4	5,106			
										公用	3	1,974			
										受託	2	3,075			
2 視聴覚ホール	246	155	63.0%	738	343	46.5%	188	貸館	161	一般	88	6,756	14,033	68	5,064
										減免	7	963			
										公用	66	4,394			
										受託	0	0			
3 会議室	250	234	93.6%	1,500	969	64.6%	287	貸館	235	一般	19	559	5,360	225	3,653
										減免	45	718			
										公用	171	2,855			
										受託	6	127			
4 文化活動室	246	201	81.7%	738	409	55.4%	230	貸館	213	一般	5	131	3,293	182	2,533
										減免	104	1,750			
										公用	104	1,091			
										受託	1	4			
5 和室	246	42	17.1%	1,476	128	8.7%	40	貸館	29	一般	22	101	168	14	56
										減免	3	11			
										公用	4	23			
										受託	0	0			
6 交流アトリウム	284	268	94.4%	850	1,112	130.8%	435	貸館	115	一般	0	0	16,240	263	5,992
										減免	5	1,971			
										公用	110	2,883			
										受託	16	5,044			
合計							1,215	貸館	777	一般	151	17,048	65,415	774	32,805
										減免	168	10,519			
										公用	458	13,220			
										受託	25	8,250			
								財団 自主	438	共催	64	4,633	157.0%	199.4%	
										主催	274	3,398			
										一般	151	17,048			
										減免	168	10,519			

三 施設の利用状況

(2) 市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
7 市民会館	221	157	71.0%	634	434	68.5%	142	貸館	121	一般	90	28,095	38,634	101	21,036
										減免	1	192			
										公用	30	7,144			
										受託	0	0			
								財団 自主	21	共催	2	658	140.6%	183.7%	
										主催	19	2,545			
										一般	90	28,095			
										減免	1	192			

※利用率＝利用日数／利用可能日数

※回転率＝利用区分／利用可能区分

※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間) 但し、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日利用があるため

2 入館者数一覧(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
		開館日数	26	26	26	27	29	26	160	27	26	24	24	24	27	152	312	309
ギャラリー	利用件数	1	1	3	4	3	2	14	4	3	3	4	4	3	21	35	22	159.1%
	利用者数	784	276	826	2,019	3,384	1,578	8,867	2,598	4,479	2,612	3,140	1,718	2,907	17,454	26,321	15,207	173.1%
視聴覚ホール	利用件数	17	7	3	29	18	0	74	25	22	22	16	12	17	114	188	68	276.5%
	利用者数	1,273	734	331	1,526	968	0	4,832	1,931	1,614	1,408	1,991	875	1,382	9,201	14,033	5,064	277.1%
会議室	利用件数	33	11	9	36	33	0	122	23	26	32	29	24	31	165	287	225	127.6%
	利用者数	492	179	145	773	504	0	2,093	359	493	803	476	500	636	3,267	5,360	3,953	135.6%
文化活動室	利用件数	24	6	8	28	24	0	90	20	27	26	21	21	25	140	230	182	126.4%
	利用者数	258	65	100	475	381	0	1,279	314	366	354	289	320	371	2,014	3,293	2,533	130.0%
和室	利用件数	3	1	1	7	3	0	15	2	5	5	6	3	4	25	40	14	285.7%
	利用者数	14	5	4	37	11	0	71	3	22	11	31	10	20	97	168	56	300.0%
交流アトリウム	利用件数	28	30	17	39	36	1	151	40	61	64	46	31	42	284	435	263	165.4%
	利用者数	384	860	155	671	204	20	2,294	1,388	2,790	781	5,936	1,808	1,243	13,946	16,240	5,992	271.0%
ボランティアルーム	利用者数	48	9	10	38	66	0	171	28	29	58	46	66	73	300	471	523	90.1%
文化情報プラザ	利用者数	347	263	216	476	384	272	1,958	397	543	330	438	536	755	2,999	4,957	3,712	133.5%
日本自分史センター	利用者数	20	10	9	24	12	0	75	17	13	11	12	14	18	85	160	169	94.7%
計	利用件数	106	56	41	143	117	3	466	114	144	152	122	95	122	749	1,215	774	157.0%
	利用者数	3,620	2,401	1,796	6,039	5,914	1,870	21,640	7,035	10,349	6,368	12,359	5,847	7,405	49,363	71,003	37,209	190.8%

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※日本自分史センターは施設の特性上、利用者数の厳密なカウントが難しい。利用のほとんどは自分史相談と書籍の貸出し・返却であるため、この数を足したものを利用人数とみなす。

※ボランティアルームについては、人数が特定できる利用についてのみカウントする。

※緊急事態宣言発令のため、5/12(水)～6/20(日)、8/30(月)～9/30(木)貸館休止。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
		開館日数	26	9	10	27	25	1	98	27	25	24	21	1	25	123	221	227
市民会館	利用件数	19	6	5	19	18	1	68	15	14	15	14	1	15	74	142	101	140.6%
	利用者数	2,998	3,534	898	3,417	3,611	372	14,830	3,708	5,119	4,088	4,717	950	5,222	23,804	38,634	21,036	183.7%

※緊急事態宣言発令のため、5/12(水)～6/20(日)、8/30(月)～9/30(木)貸館休止。

※市民会館改修工事のため、2/1(火)～2/26(土)まで貸館休止。